

都道府県、政令市名	大分県		
基金の名称	大分県地域環境保全基金		
基金の目的	地域の環境保全を図ることを目的とする		
27年度末基金総額(a=b+c+d+e)	301,024	26年度末基金総額	335,456
うち国費相当額(b)	149,913.5	▲27年度基金執行額	35,463
うち地方負担相当額(c)	149,913.5	27年度基金運用益	1,031
うち運用益(国費相当分)(d)	598.5	27年度その他造成額	
うち運用益(地方負担相当分)(e)	598.5		

## 基金事業の概要及び執行額の内訳

1 地球温暖化対策推進事業	
執行額	29,000千円(うち基金充当額19,267千円)
目的	大分県内の家庭・業務・運輸部門におけるCO2排出実績は、大分県地球温暖化対策地域推進計画に定める2015年度目標と比べ、大きな乖離がある。 各部門におけるCO2排出量削減のため、県民に対する意識啓発や取組を推進するため、「九州版炭素マイレージ制度推進事業」、「家庭向けCO2削減事業」、「事業者向け省エネ対策事業」、「おおいたCO2交通ダイエット推進事業」を実施する。
期間	通年
実績	<p>【九州版炭素マイレージ制度推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○電気使用量の削減活動への参加: 15,047世帯</li> <li>○環境保全活動への参加: 35団体104活動</li> <li>○省エネ製品の購入: 11社13製品</li> </ul> <p>【家庭向けCO2削減事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○うちエコ診断 151件</li> <li>○夏の省エネ・節電セミナー 7月7日 参加者150名</li> <li>○家庭の省エネ大賞 表彰29名</li> <li>○地球温暖化防止推進大会2015 12月17日 参加者150名</li> </ul> <p>【事業所向省エネ対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○事業所向け省エネ診断の実施: 82事業所</li> <li>○事業者のための環境マネジメントシステムセミナー 平成27年4月9日 佐伯市 4月13日 大分市 4月15日 日田市、宇佐市 参加事業所: 28事業所</li> <li>○エコアクション21認証取得のためのコンサルティングの実施 5回実施(平成27年5月14日、6月5日、6月26日、 平成27年9月4日、10月9日)</li> </ul> <p>【おおいたCO2交通ダイエット推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○エコ通勤割引の実施 パス申請者数: 562人 利用者実績: 延べ652人</li> <li>○大分県ノーマイカーウィーク 実施日: 平成27年6月1日～7日、9月1日～7日、12月1日～7日、 平成28年3月1日～7日 参加事業所: 346事業所</li> </ul>
公募状況	事業所向け省エネ診断事業業務委託募集要項

2 節電・省エネ対策推進事業	
執行額	3,555千円(うち基金充当額3,555千円)
目的	<p>東日本大震災とそれに続く原発事故を契機に、国内の原子力発電所の運転が停止し、電力供給余力が低下しており、電力消費量のピークである夏・冬の電力需給が逼迫する事態も懸念されている。</p> <p>このような事態に対応し、県民生活への安全・安心の確保を目的に、節電・省エネ行動の実践と普及・啓発を実施することで、環境意識の向上を図ることを目的に、夏と冬の時期を中心とした節電に関する広報を行う。電力供給余力が低下しており、電力消費量のピークである夏・冬の電力需要が逼迫する事態も懸念される。このような事態に対応し、県民生活への安心・安全の確保を目的に、節電・省エネ行動の実践と普及・啓発を実施する。</p>
期間	通年
実績	<p><b>【節電広報】</b></p> <p>(1)夏</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ポスター配布先・配布数：県内市町村、事業所、県機関等 3,500部</li> <li>○新聞掲載日：6月27日(大分合同、読売、朝日、毎日、西日本)</li> <li>○スポット数：テレビ3本、ラジオ4本</li> <li>○街頭啓発：7月1日トキハ前で実施、太田副知事(本部長)、 商工労働・生活環境部長、九州電力大分支社長等参加</li> </ul> <p>(2)冬</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ポスター配布先・配布数：県内市町村、事業所、県機関等 3,500部</li> <li>○新聞掲載日：11月28日(大分合同、読売、朝日、毎日、西日本)</li> <li>○スポット数：ほっとはとOITAや月間ぶらざで冬の節電特集</li> <li>○街頭啓発：7月1日トキハ前で実施、太田副知事(本部長)、 生活環境部長、九州電力大分支社長等参加</li> </ul> <p><b>【緑のカーテンによる庁舎の節電対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○設置規模：本館3～6階南側ベランダ、9階農林水産部長室前ベランダ 別館2～6階南側ベランダ、9階食堂前、1階花壇 ゴーヤ900本、アサガオ45本、ヘチマ25本</li> <li>○効果：設置階と非設置階の室内温度 本館 平均1.8～2.5℃ 別館 平均0.9～1.2℃ の温度差</li> </ul>
公募状況	該当なし

### 3 大分県少年の船運航事業

執行額	48,347千円(うち基金充当額5,632千円)								
目的	大分県の明日を担う青少年が、規律、友情、連帯の精神のもと、船内研修、沖縄の少年との交流、現地研修及び団体生活を通じて、広い視野と社会性を養い、平和の重要性や環境について学ぶことを目的に少年の船を運航し、もって、こころ豊かな生き生きとした青少年の育成を図る。								
期間	平成27年7月25日(土)～7月29日(水)								
実績	<p>1 事業の名称 第36回「大分県少年の船」運航事業</p> <p>2 実施主体 大分県少年の船実行委員会</p> <p>3 訪問先 沖縄県</p> <p>4 参加者</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>団員(小学校5年生・6年生)</td> <td style="text-align: right;">483名</td> </tr> <tr> <td>副班長(中学生)</td> <td style="text-align: right;">47名</td> </tr> <tr> <td>班長(高校生)</td> <td style="text-align: right;">28名</td> </tr> <tr> <td>スタッフ・リーダー</td> <td style="text-align: right;">51名 (合計609名)</td> </tr> </table> <p>5 その他</p> <p>(1) 運営委員会の開催(団長、副団長、運営委員対象)</p> <p>第1回運営委員会:平成27年4月24日(金)</p> <p>第2回運営委員会:平成27年5月15日(金)</p> <p>第3回運営委員会:平成27年5月23日(土)</p> <p>第4回運営委員会:平成27年6月14日(日)</p> <p>第5回運営委員会:平成27年7月5日(日)</p> <p>第6回運営委員会:平成27年7月12日(日)</p> <p>第7回運営委員会:平成27年8月29日(土)※事業総括</p> <p>(2) 研修会の開催</p> <p>第1回研修会:平成27年5月23日(土)～24日(日)※リーダー対象</p> <p>第2回研修会:平成27年6月14日(日)※リーダー、班長・副班長対象</p> <p>第3回研修会:平成27年7月5日(日)※団員対象(総合事前研修)</p> <p>第4回研修会:平成27年7月12日(日)※リーダー、班長・副班長対象</p> <p>第5回研修会:平成27年9月22日(火)※団員対象(総合事後研修)</p> <p>6 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習系の運営委員を中心に研修期間中における環境学習の内容を企画するとともに外部講師との連携も図りつつ、大分と沖縄の自然環境等に関する学習等を実施した。</li> <li>○環境保全に対する理解を深めるため、全体での学習の後に、班単位でのふりかえりとまとめを行うなど工夫を図った。</li> </ul>	団員(小学校5年生・6年生)	483名	副班長(中学生)	47名	班長(高校生)	28名	スタッフ・リーダー	51名 (合計609名)
団員(小学校5年生・6年生)	483名								
副班長(中学生)	47名								
班長(高校生)	28名								
スタッフ・リーダー	51名 (合計609名)								
公募状況									

4 水環境保全活動ネットワーク化促進事業	
執行額	3,181千円(うち基金充当額3,141千円)
目的	水問題及び環境問題に取り組む団体の育成とネットワーク化を推進し、水に関する知の集積を図り、本県の水情報を発信することを目的とする。
期間	通年
実績	<p>【委託団体主催事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○大地と生きものシンポジウム 平成27年11月14・豊後大野市 エイトピアおおの・延べ150名</li> <li>○アジア・太平洋水サミット開催記念フォーラム2015 (記念講演・シンポジウム・ポスター物品展示) 平成27年11月29日・大分市 センチュリーホテル・約120名</li> <li>○生きものあふれる田んぼと地域づくりシンポジウム 平成28年2月27日・豊後大野市 エイトピアおおの・延べ80名</li> </ul> <p>【委託団体と地域団体との連携事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○中津干潟生物学習会 平成27年7月4日・中津市 中津干潟・約15名</li> <li>○第30回入田名水祭り 平成27年7月19日・竹田市・約1,000名</li> <li>○環境学習会 平成27年8月6、7、24日・中津市 五十石川流域・約80名</li> <li>○ジュニアライフセービング教室 平成27年8月18、20日、9月22日・大分市 田ノ浦ビーチ・約60名</li> <li>○住みよい地域の環境づくり 平成27年4月30日、5月16日、6月20日、7月25日、8月29日、9月26日、 10月31日、11月28日、12月26日、平成28年1月23日、2月20日 ・大分市津留地区・約135名</li> <li>○水とみどりの環境リーダー養成プログラム 平成27年6月21日、7月19日、8月23日、9月20日、10月18日 11月15日、12月20日、平成28年1月17日、2月21日・宇佐市・毎回約30人</li> <li>○丈夫な海のための森づくり 平成27年4月～平成28年2月・日田市、姫島村・10名</li> <li>○大分川流域の水質調査 平成27年4月～平成28年2月・由布市、大分市・15名</li> <li>○宇佐市オオサンショウウオ生息地域の水質調査 平成27年4月～平成28年2月・宇佐市・15名</li> <li>○カプトガニ生体標識調査 平成27年6月～9月・中津市・10名</li> <li>○環境保全活動NPOの実態調査事業 平成27年4月～平成28年2月・大分県内・5名</li> </ul> <p>【国際情報発信交流事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○第7回世界水フォーラム 平成27年4月12日～17日・大韓民国テグ市・11名参加 (世界水フォーラム参加者:約41000名)</li> <li>○第7回世界水フォーラム成果交流シンポジウム 平成27年7月18日・大分市コンパルホール・約100名</li> </ul>
公募状況	該当なし

5 豊かな水環境創出事業	
執行額	8,012千円(うち基金充当額634千円)
目的	生活や産業に直結し、住民の関心が高い河川について、流域住民が自主的、継続的に生活排水対策等の水環境保全活動に取り組むことにより豊かな水環境を創出する。
期間	通年
実績	<p>河川の現状を知り、親しみを持つような事業を行う水環境保全団体等に物品を支援し、水環境保全意識の醸成や取り組みを行うきっかけ作りを行った。</p> <p>○水生生物調査 平成27年6月下旬～9月上旬の合計20回・436名</p> <p>○各水環境保全団体のイベントでの啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大分川源流リバーウォーク 平成27年8月30日・約200名</li> <li>・源流の碑探訪と交流会 平成28年3月13日</li> <li>・天津地区しっとこ天津健康ウォーキング 平成28年3月27日・103名</li> </ul>
公募状況	なし
6 おおいた生物多様性保全事業	
執行額	7,541千円(うち基金充当額2,236千円)
目的	絶滅のおそれのある野生動植物の保護をNPO等に委託し、NPO・地域・行政が協働して行う保護活動の体制づくりと保護の推進を図る。また、県民参加型の生きもの調査を実施し、身近な場所で自然に親しむ機会の拡大を図る。
期間	平成27年6月30日～平成28年2月29日
実績	<p>ハッチョウトンボやハマナツメなど、絶滅のおそれのある野生動植物の保護及び普及啓発活動を県内の7団体に委託し、NPO、地域、行政が協働して保護活動等を行った。</p> <p>また、カエル、カメ、ツバメなど、身近な生きものを見つけ、環境省「生きものログ」に登録する県民参加型の生きもの調査を県内の4団体に委託し、計211件の登録を行った。</p>
公募状況	○絶滅危惧種保護活動 公募要領等名称:平成27年度絶滅危惧種保護活動事業募集要項
7 環境保全対策事業	
執行額	998千円(うち基金充当額998千円)
目的	県民の環境問題の関心と理解をより一層深めることを目的に、本県の環境の現状と、環境保全のために実施している施策やその実施状況などをとりまとめた「平成27年版環境白書」を刊行する。
期間	平成27年4月1日～平成28年3月24日
実績	環境白書の作成(560部)、配付及び県HPへの掲載
公募状況	なし